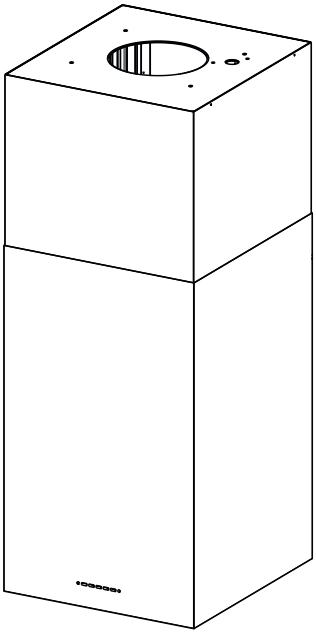
FABER



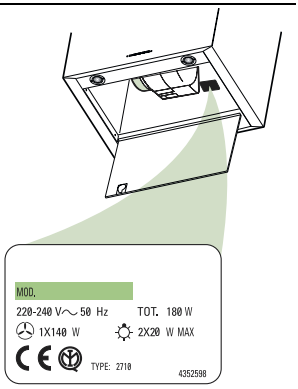
Cubia Isola

取扱説明書
目次

正しくお取り扱いいただくために. 15
仕様 16
取り付けのしかた 18
使用のしかた 22
お手入れのしかた 23

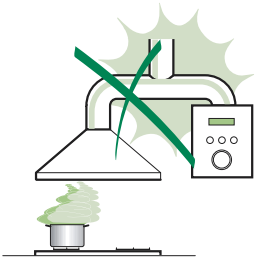
正しくお取り扱いいただくために

⚠この取扱説明書は器具の複数のレンジフードに適用されます。したがいまして、特定の器具に適さない個々の特徴が説明されているところもあります。



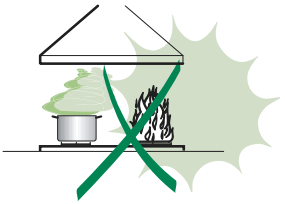
取り付けのしかた

- メーカーは間違ったあるいは不適切な取り付けに起因する損傷については一切責任を負いません。
- ガス器具とレンジフードの間の最低離隔距離は８００mmです。
- 主要電圧がレンジフード内側の表示プレートに示されている電圧に対応することを確かめてください。
- この電気器具はアースを使用して適切に接地されなければなりません。
- 120mm以上の直径を持つダクト配管を使ってレンジフードをダクト接続口に接続してください。ダクト配管はできるだけ短くしてください。
- レンジフードを（ボイラー、暖炉などの）燃焼の結果生じる煙を運ぶ排気ダクトと接続しないでください。
- レンジフードが非電気器具（たとえばガス燃焼器具）と同じ室内で使用される場合は、室内の十分な換気がなされるようにしてください。きれいな空気がはいるようにするために、台所には外気に直接に通じる通気口が必要です。



使用のしかた

- このレンジフードは家庭使用のみを目的に台所の煙やにおいを除去するために設計されました。
- 上記の目的以外の目的にはレンジフードを使用しないでください。
- レンジフードが作動しているときには、フードの下に裸火炎を放置しないでください。
- 火が鍋の横に出ないで下に当たるように火の強さを加減してください。
- 油のはいった深いフライパンからは使用中に目をはなさないで下さい。油は熱しすぎると燃えることがあります。
- レンジフードの下で炎の上がる調理をしないでください。火事の危険があります。
- この器具は、安全責任を持つ人によって監督や器具の使用指導がおこなわれないもとでは使用しないでください。子供を含めて身体的、感覚的、精神的能力が減少している人、または経験や知識のない人には使用させないでください。
- この器具のそばで子供を遊ばせないでください。

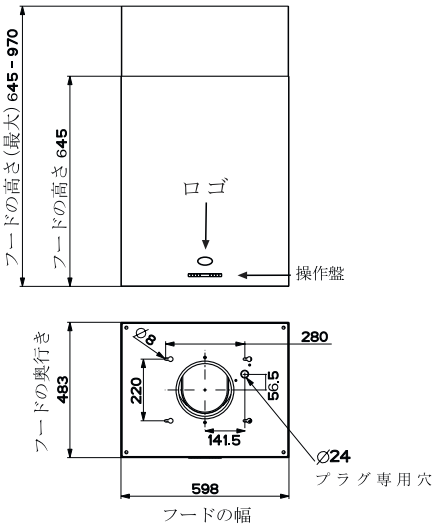


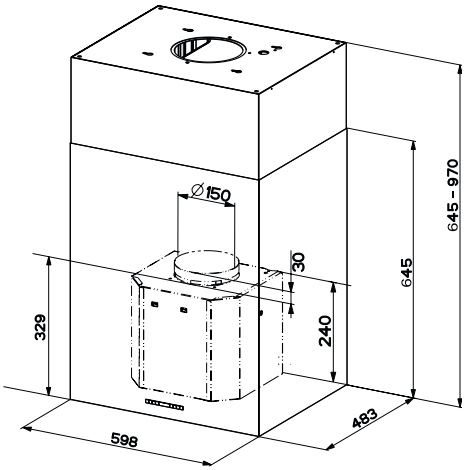
お手入れのしかた

- お手入れの前には、電源スイッチを切るか、主要電源プラグを抜いてください。
- 2か月以内毎にフィルターを掃除する／交換するようにしてください。
- レンジフードの掃除には湿った布と中性洗剤を使ってください。

仕様

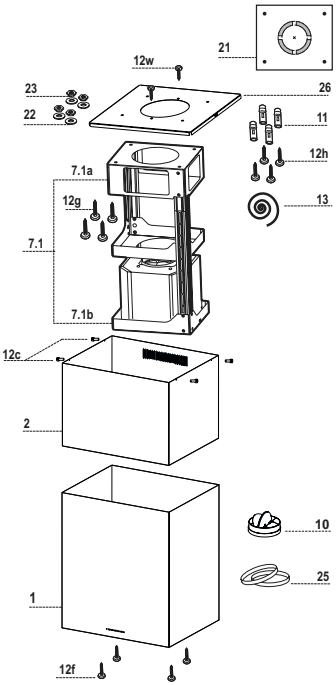
寸法


フードの高さ(最大) 645 - 970
フードの高さ 645
ロゴ
操作盤
フードの奥行き
483
Ø8
280
220
56.5
141.5
Ø24
プラグ専用穴
598
フードの幅

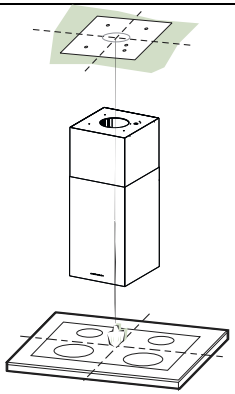

Ø150
30
329
240
645
645 - 970
598
483

付属品

Ref.	個数	製品部品
1	1	フード本体（以下のものを含む） …操作ボタン、ライト、送風機、フィルター、下部ダクト
2	1	上部ダクト
7.1	1	伸縮式フレーム（以下のものを含む）
7.1a	1	フレーム上部
7.1b	1	フレーム下部
10	1	ダンパー付きフランジ
13	1	ノヴァスティック　パッキングシール
25	2	筒を締めるためのテープ
26	1	上部ダクト固定プレート
Ref.	**個数**	**取り付け部品**
11	4	樹脂製プラグø10
12c	4	ボルト 2.9 x 9.5
12f	4	ボルト M6 x 10
12g	4	ボルト M6 x 80
12h	4	ボルト 5.2 x 70
12w	2	ボルト M3 x 8
21	1	ドリリング用型板
22	4	ワッシャー ø 6.4
23	4	ナット M6
	個数	**資料**
	1	取扱説明書



取り付けのしかた

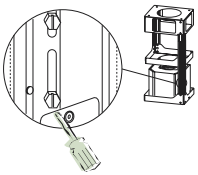


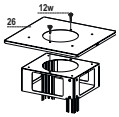
天井／棚のドリリングとフレームの固定

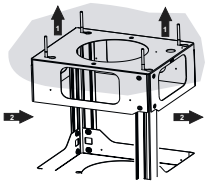
天井／棚のドリリング

- 測沿線を使用して、取り付ける天井／棚にレンジの中心点の印をつけてください。
- 付属のドリリング用型板**21**の中心を天井／棚に印をつけたレンジの中心点に合わせ、レンジの軸方向線と型板の軸方向線を一致させてください。
- 型板の各穴の中心を示す印をつけてください。
- 印をつけた点にドリリング（穴あけ）をします。
- 丈夫なコンクリートの天井の場合：コンクリート用アンカーボルトにしたがって穴をあけてください。
- 20mmの厚さの詰まった部分がある空洞レンガブロックの天井の場合：ø10mm（付属の樹脂製プラグ**11**をすぐに挿入してください）の穴をあけてください。
- 木製の梁天井の場合：使用された木の種類にしたがって穴をあけてください。
- 木製棚の場合：ø7mmの穴をあけてください。
- 電源の線の通し穴：ø10mmの穴をあけてください。
- （吸引式レンジフードの場合）排気口：外部に排出するダクト配管の接続部の直径にしたがって穴をあけてください。
- 2本のボルトを、交差させて、天井から4-5mmだけ残るようにして、締めてください。
- 丈夫なコンクリートの場合、コンクリート用アンカーボルト（付属していません）を使用してください。
- 20mmの厚さの詰まった部分がある空洞レンガブロックの天井の場合、付属の**12h**を使用してください。
- 木製の梁天井の場合、木ネジ（付属していません）を使用してください。
- 木製棚の場合、付属のボルト**12g**をワッシャー**22**とナット**23**とともに使用してください。

フレームの固定



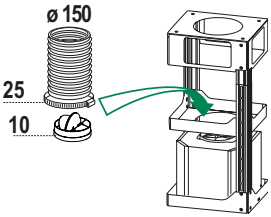




フレームの高さを調整する場合は以下の手順にしたがってください。

- 2本の支柱を連結させている8本のボルトをはずしてください。
- フレームの高さを調整し、8本のボルトを元通りに締めてください。
- 上部ダクト固定プレート**26**と、フレーム上部を2本のボルト**12w** (M3 x 8)を使ってつないでください。
- フレームを持ち上げ、穴をボルトにはめこみ、しっかりと奥までスライドさせてください。この時点でフレームをそれ自体で立たせることができます。
- まず上部ダクト固定プレートにおいて、対角線上に２本のボルト１２ｈを締め、そのあと残りのボルトを締めてください
- ボルトを完全に締める前にフレームを移動させて調整させることができます。その際、ボルトが穴から出てしまわないように注意してください。
- この時点で4本の安全ボルトを締めることができますが、それには以下の手順にしたがってください。
- 上部ダクト固定プレートの横にある穴を使って、ø10のドリルの先で天井に穴をあけてください。
- 4本の付属の樹脂製プラグを挿入してください。
- ボルトに付属のワッシャーを挿入し、締めてください。
- フレームの固定は、フードの重量や、取り付けられた器具に横から押さえられる力から生じる力に耐えられるように、しっかりとおこなってください。フレームの固定が終了したら、フレームに曲げる力が加わってもそのベース部分が安定しているかどうかを確かめてください。
- いずれにしても、天井に対する吊り具合が十分な強度を備えていない場合は、施工者は適切な処置を施し、天井を構造的に強化するようにしてください。

各部のつなぎ方

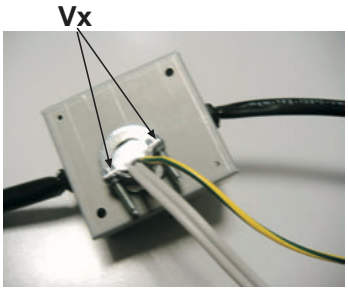


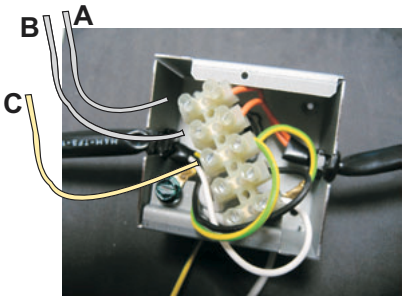
ダクト配管の取り付け

不燃性のダクト配管またはフレキダクト配管を使用して、フードをダクト配管に接続してください。ダクト配管の種類は施工者が選んでください。

直径150㎜のダクト配管の取り付けかた

- 直径150㎜のダンパー付きフランジ10をフード本体のダクト接続口に挿入してください。
- 適切なテープ（付属していません）を使用してダクト配管を固定してください。



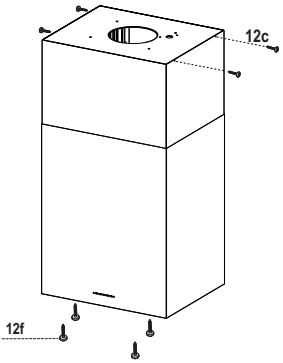


- レンジフードが、外部ファンや給気シャッターなどの外部換気設備と共に電気接続されて使用される場合は、以下の指示にしたがってください。
  6. ボルトをゆるめてカバーをはずしてください。
  7. ボルト**Vx**をゆるめて外部装置の**A/B**の線を金属製の線止めに通してください。
  8. アース線の接続が必要な場合は、**C**の線をも線止めに通し、さらに**緑／黄色**の線の位置にある端子ボードに接続させてください。
  9. 外部装置の線（外部換気設備出力連動線**A/B**）を、**オレンジ色**の線の位置にある端子ボードに接続させてください。
  10. ボルト**Vx**を締め、カバーを元通りに取り付けてください。

- レンジフードの**緑／黄色**のアース線に家庭のアース線を接続してください。
- レンジフードを主要電源に接続してください。

（重要）外部換**気**設備の最大電力—１００W

ダクトの組み立てとフード本体の固定

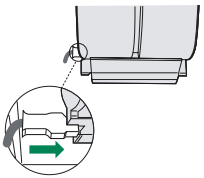


- 付属のボルト**12c**(2.9x9.5)を使用して上部ダクトを挿入し、上部ダクト固定プレートの上部に固定してください。

フード本体をフレームに固定する前に以下のことをおこなってください。

- 整流板を引いてあけてください。
- 固定ピンの所定レバーをスライドさせて、整流板をフード本体からはずしてください。
- グリースフィルターをフード本体からはずしてください。
- 次に、付属の4本のボルト**12f**を使用して、下方からフード本体を用意したフレームに固定してください。

電気接続



- 整流板とグリースフィルターをあけてください。
- コネクターの接続をおこなってください。
- グリースフィルターと整流板を元通りに取り付けてください。

使用のしかた

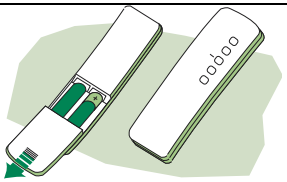
操作盤

ボタン	機能	ディスプレイ
A	モーターのスイッチのオン/オフを切り替えます。モーターは最新の選択スピードで回ります。 外部換気設備が接続されている場合、このボタンを押すとそのモーターのスイッチのオン/オフの切り替えがおこなわれます。	選択スピードが表示されます。
B	吸引スピードを減少させます。 モーターとライトがオフになっているとき、このボタンを3秒間押すことで操作盤ロックをしたり、解除したりすることができます。	**Lo** の表示がされます。.
C	吸引スピードを増大させます。	
D	このボタンを押すことで、前のスピードに関係なく、強力スピードにすることができます。強力スピードはモーターがオフになっている状態からも作動されることができます。このスピードの時間は5分に決められています。5分が経過すると、自動的にその前のスピードにもどります。この機能は、料理中に蒸気とにおいが最大に出ている状況での使用に適しています。	**HI** の表示がされます。.右下のスポットが1秒に1回の割合で点滅します。
E	このボタンを押すことで、モーターの吸引スピード140 m3/hで24時間の間1時間ごとに10分間続けて作動させることができます。 このボタンを３秒間押すと、フィルター洗浄お知らせアラーム（FF）をリセットすることができます。	**24-functionを**表示します。モーターがオンになっている間、右下のスポットが点滅します。 プロセスがいったん終了すると24-functionという前の表示が消えます。 **FF**金属製グリースフィルター目詰まりアラームが出て、フィルターが洗浄されなければならないことを示します。このアラームはレンジフードが実質的に100時間作動した後に出されます。 **EF**活性炭フィルター目詰まりアラームが作動し、フィルターが交換されなければならないことを示します。金属製グリースフィルターも洗浄する必要があります。このアラームはレンジフードが実質的に200時間作動した後に出されます。
F	このボタンを押すことで器具が10分後に停止するようにタイマーセットできます。この機能はにおいを完全に除去したい場合に適しています。この機能はどの状態からでも作動させることができます。また、ボタンを再度押すか、モーターのスイッチをオフにすることでこの機能を停止させることができます、	レンジフードの選択スピードとフードが停止するまでの時間を交互に表示します。右下のスポットが点滅します。
G	ライトをオン/オフにします。	
H	弱い明るさのライトをオン/オフにします。	

モーターとライトは**24h-function**がオンになっていない限り、5時間後に停止します。

お手入れのしかた

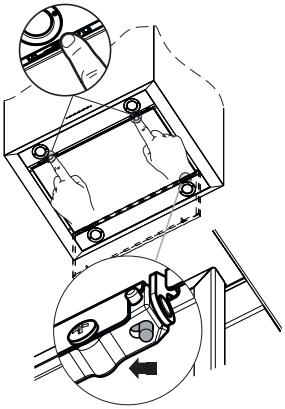
リモコン（別売）



この器具はリモコンによって制御することができます。リモコンは、標準LR03-
AAAタイプの1.5V炭素亜鉛アルカリ乾電池を使用します。

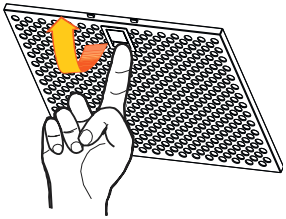
- リモコンは熱を放射する物の近くには置かないでください。
- 使用済みの乾電池は法規定にしたがって廃棄してください。

コンフォートパネルのクリーニング



- 整流板を引いてあけてください。
- 固定ピンの所定レバーをスライドさせて、パネルをフード本体からはずしてください。
- 整流板は絶対に食器洗浄機に入れないでください。
- 整流板の外側のクリーニングには湿った布と中性洗剤を使うだけで十分です。
- 整流板の内側のクリーニングにも湿った布と中性洗剤を使うだけで十分です。濡れた布やスポンジを使ったり、水流にさらしたり、研磨剤を使用したりしないでください。
- 作業終了後は、フード本体に整流板を元通りにはめて閉めてください。

金属製グリースフィルター



フィルターは食器洗浄機で洗浄可能です。フィルターの洗浄は、ディスプレイにFFと表示された場合に、または少なくとも約2ヶ月に一度、または集中的に使用した場合にはさらに頻繁に、おこなうようにしてください。

アラームのリセット

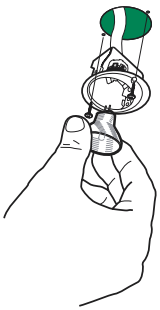
- レンジフードのスイッチとライトをオフにしてください。24h-functionがオンになっている場合はオフにしてください。
- ディスプレイが消えるまでEボタンを押してください。

フィルターのクリーニング

- 整流板を引いてあけてください。
- フィルターは、片手で全部のフィルターを支え、他方の手でレバーを下に引いて、ひとつずつはずしてください。
- フィルターを洗浄してください。その際、フィルターを曲げないようにしてください。フィルターは元通りに取り付ける前に乾かしてください。
- フィルターを元通りに取り付ける際には、取っ手が外側に見えるようにして下さい。
- 整流板を元通りに閉めてください。

ライト

ライトの交換



20 W ハロゲンライト

- ライト受けを固定している2本のボルトをはずし、ライト受けをフードから引いて取り出してください。
- 電球をライト受けから取り出してください。
- 同じタイプの他の電球と交換してください。その際、電球ホルダーのソケット穴に2本のピンが正しく差し込まれていることを確認してください。
- ライト受けを元の位置にもどし、先にはずした2本のボルトで固定してください。

ファン

- レンジフードの電源を切ってください。
- 整流板をあけて、フードからグリスフィルターをはずしてください。

- コネクタCaをはずしてください。
- フード本体からアースケーブルをはずしてください。
- 片手で吸引ユニットを支えながら、吸引ユニット固定レバーLbを回転させ、ピンからはずしてください。
- 吸引ユニットを前に引いてスライドさせ、サポート・ピンからはずして、下に向けて排気口からはずしてください。
- 湿った布と洗剤を使って吸引ユニットを清掃してください。ユニット内部や、コネクター受けに水がはいらないように十分な注意をはらってください。
- 排気口は、できるだけ届くところまでブラシを使って清掃してください。
- 元通りに取り付ける前によく乾かしてください。
- 取り外す際とは逆の順序にしたがって元通りに組み立ててください。